



お元気ですか

株式会社ダイニ商会 045(521)4786

用途に合わせたゴム手袋の着用を！

ガラス瓶の仕分け作業中、割れたガラス片で指先を負傷する労災事故が発生しました。使い捨てのゴム手袋を着用していましたが、それでは薄く、耐久性も弱く、保護具にはなりません。裂傷の恐れのある作業時は、必ず厚手のゴム手袋を着用してください。ゴム手袋には用途に合わせた種類があります。作業によって使い分け、労災事故を防ぎましょう。

厚手のゴム手袋 (ビニトップ厚手)	
	<p>ゴミの仕分け作業 植栽の中の草むしりやゴミ拾い時など</p> <p><u>怪我から手指を守る</u>必要がある作業時に着用</p>
薄手のゴム手袋 (ブルーフィット)	
	<p>主に水仕事の時など</p> <p>水や洗剤などによる<u>手荒れや疾患などから手指を守る</u>必要がある作業時に着用</p>
使い捨てのゴム手袋	
<p>衛生性やクリーン度を保つために、繰り返し使用を避けるべき作業時に着用 吐しゃ物などの清掃作業など</p>	

会社から標準的に支給しているゴム手袋は、厚手ではビニトップ、薄手ではブルーフィットをお届けしています。

それ以外のゴム手袋を使用したい場合は、各エリア担当にご相談ください。

ゴム手袋は手のサイズにちょうど合うことは難しく、さらに厚手であれば動きの妨げになる場合もあり、着用が億劫になる方も多いようです。

しかし、手指の怪我や疾患は、仕事作業だけではなく、日常生活にも支障が出てしまうことがとても多いです。

ゴム手袋はあなたの手指を守るために、とても大切な保護具です。それぞれ、サイズもいくつかありますので、用途に合わせて、必ず着用するようにしてください。



冬に怖い血管障害

冬になると発症数が増加する病気がいくつかあります。中でも最も怖いのは、心筋梗塞や脳卒中などの血管障害です。

これらの病気の原因は、低温環境そのものが原因の場合もありますが、一番は気温差です。急激な気温の落差によって、血管が急激に縮小し、脳や心臓に急激な負荷をかけます。

特に、もともと血圧が高めの方は気を付けましょう。

こういった血管障害を予防するには、身体を冷やさないことや、温度差の少ない環境を保つことが有効です。

先月号でお知らせした、各自治体が無料で行っている特定健康診査を上手に利用して、ご自分の健康管理に努めましょう。そして、健やかな年越しを過ごしましょう。

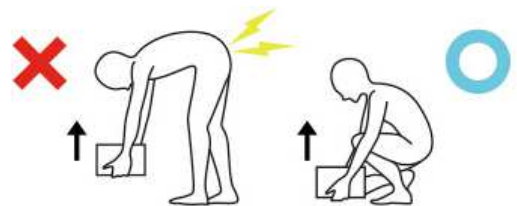


ギックリ腰を防ごう

就業中に急性腰痛症、いわゆるギックリ腰を起こす件が立て続けに発生しています。

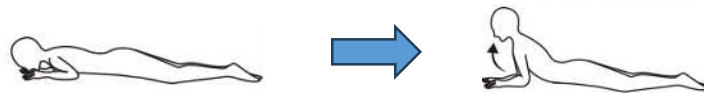
冬になり、増加するのは腰痛も同じです。寒さで身体が縮こまり、筋肉も関節も硬くなりがちです。これまでギックリ腰を発症したことが無い人にも、突然起こることなので、普段からの行動で予防していきましょう。

- ✓ 重い物を持ち上げるときは、膝を曲げた姿勢から持ち上げる
- ✓ 長時間、腰を屈めたままで作業しない
- ✓ モップ拭きの際など、勢いをつけて腰を捻らない



ギックリ腰予防トレーニング

- ① まず、うつぶせに寝る
- ② 5～10cm ほど上半身を持ち上げ、5～10 秒キープして、休む
- ③ ②の動きに慣れたら、上半身と一緒に足も浮かせて、5～10 秒キープして、休む



1日3回ほど、つらくない範囲で、継続して行ってみましょう。

ギックリ腰は繰り返し発症する人が多いと言います。くしゃみや咳のタイミングで発症するパターンも多いようです。腰の強化と柔軟性を保つことは、ギックリ腰の予防にかなり有効です。上記のトレーニングを無理なく続けることで、ギックリ腰だけでなく、通常の腰痛の予防にも繋がります。

ぜひ、習慣の一つとして続けてみてください。

なお、現場での清掃作業にあたり、バケツに水を入れて持ち歩くのは控えましょう。

水拭き用のタオルはあらかじめ必要枚数だけ絞っておき、それをバケツで持ち運ぶようにしてください。

重い水を持ち運ぶリスクと、バケツの中の水を溢してしまうリスクを回避する、一石二鳥の工夫になります。

安全衛生委員会便り

10月11日(水) 14時～14時40分 7名参加

- 腰痛が増えている、準備体操など勧めること
- 他社で屋上から転落死亡災害が発生した、屋上清掃は再度要注意すること
- 9/14, 15で新人研修会があり、参加者割合は68%となった。次回は11/15, 16
- 靴底点検で不良(x)が多い、各自の点検が不十分である、購入補助制度は浸透してきている
- 9/11に休業4日以上災害(腰痛)が1件発生した、今後はゼロで抑えること、それには一課二課の各担当の努力にかかっている
- 今年は通勤途上の災害が増加している、こちらも注意喚起が必要

通勤災害が増加

今年もいよいよ終盤に近付いてきました。師走はせわしく、事故が多発する時期でもあります。

今年はすでに通勤災害が5件発生しています。過去5年間で最多です。

そして、この5年間で一番多い発生状況として、自転車やバイクなどの自損事故やもらい事故が挙げられます。

特に自転車による事故は、通勤時に限らず、とても多く発生しています。

次いで、歩道の段差や、駅構内の階段での転倒、急な走り出しによる転倒などです。

自転車通勤の注意点

- ✓ ヘルメットを着用する
- ✓ 一時停止、信号厳守などの交通法規を守る
- ✓ 自転車も軽車両と同じだと自覚して運転する

自転車通勤をしていて、会社に報告をしていない方は、すぐに電話にて連絡をしてください。

駅構内での注意点

- ✓ 階段やエスカレーターでは手すりを掴んで利用する
- ✓ 悪天候時のエスカレーターは歩かない
- ✓ 駅構内で走らない

通勤には時間にゆとりを持って、行動できるようにしましょう。

バス通勤時の注意点

- ✓ 駆け込み乗車をしようしない
- ✓ バス乗降時は足元を確認しながら、ゆっくりと
- ✓ バス車内では、付近のつり革や手すりに必ず掴まる

健康のために立って乗車する人もいますが、座席が空いていれば、無理せず座ることも転倒事故防止の一環です。



通い慣れた通勤経路こそ、油断せずに、ゆとりをもって通勤しましょう。

休暇申請が出来ない日のお知らせ

下記の日程におきまして、社内行事を予定しております。

急病などのやむを得ない事情を除き、お休みをご遠慮いただけますよう、お願い致します。

- 11月8日(水) 安全衛生委員会
- 11月15日(水)・16日(木) 新人研修会開催
- 12月13日(水) 安全衛生委員会
- 12月24日(日)～2024年1月6日(土) 年末年始の繁忙期につき

皆様のご理解とご協力をお願い致します

KING OF TIMEのご案内

KING OF TIME (キング オブ タイム) とは、出勤電話に変わる、携帯電話による出勤退勤登録システムのことです。

初期登録をしてしまえば、その後の操作はとて簡単で、出勤時、現場到着時、退勤時に画面のボタン(右図)を押していただくだけです。

スマートフォンだけでなく、フューチャーフォン(ガラケー)をご利用の方でも、ご登録、ご利用いただけます。

また、登録自体は管理者が行います。その際には、氏名とメールアドレスが必要になりますので、ご興味のある方には、登録までの案内を送付しています。

現在、出勤電話をくださっている全ての方が対象となります。興味はあるけど、自分には関係ないのではと思わずに、ぜひ、お気軽にお問合せだけでもしてみてください。



LINE 公式アカウント登録のお願い

LINE (ライン) の公式アカウントでは、主に業務に関するお知らせや、天候や災害などの注意喚起をお伝えしています。

現在、225名(5割強)の方が、すでにご登録いただいています。

スマートフォンでLINEをご利用されている方は、ぜひ友だち登録をお願いします。

右のQRコードから簡単にご登録いただけます。

登録方法が分からない場合は、お気軽に事務所までお問い合わせください。



今月の安全標語 思いやる 心ひとつで 事故はなし

床を水拭きするとき「濡れた床で、人がを滑らせないか」

用具を置くとき「ここに置いたら、人がつまずいて転ばないか」

歩行する人のことを考え、思いやる心が、事故を未然に防ぎます。

事故を防ぐ大きな要因のひとつに「心」の使い方があります。

漠然と体を動かす作業から、常に先を見て、結果を考える作業を心掛けましょう。

安全の基は心です マナーの基も心です 仕事の土台は無事故です